



株式会社ダイドーリミテッド

経営管理室

〒101-8619 東京都千代田区外神田三丁目1番16号

TEL.03-3257-5024 FAX.03-3257-5051

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して 定めた日 (中間配当金につきましては、第74期以降見送 らせていただいております。)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他のご照会) ☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同 取 次 所 公 告 方 法	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店 当社のホームページに掲載する http://www.daido-h-limited.com/ ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行なう
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部



第84期中間事業報告書

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで



株式会社ダイドーリミテッド

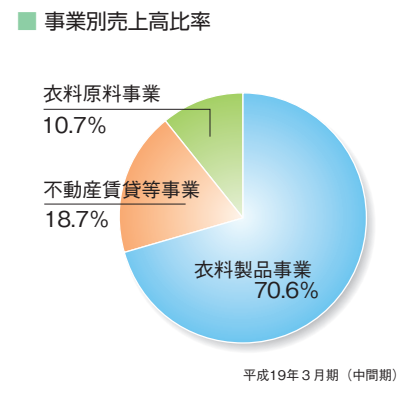
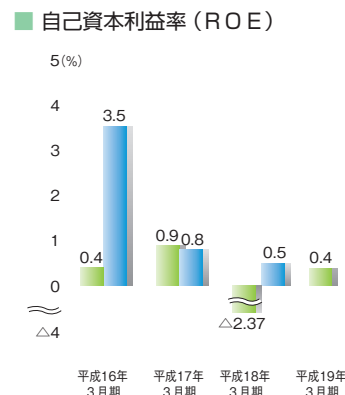
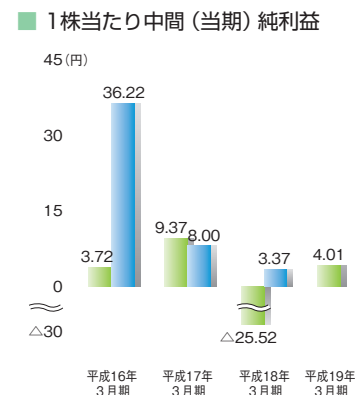
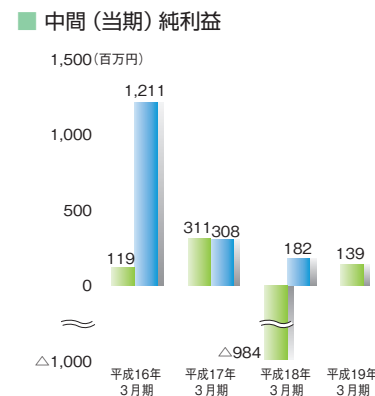
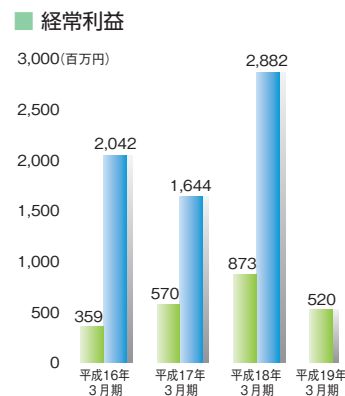
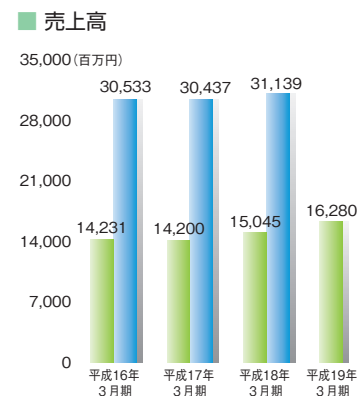


古紙100%配合紙100%再生紙を使用しています



地球環境に配慮した大豆インキを使用しています

■ 通期 ■ 中間期



株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第84期上半期(平成18年4月1日から9月30日まで)の営業の概況をご報告申し上げます。

当中間連結会計期間のわが国経済は、原油価格の上昇などの不安定な要因を抱えながらも、円安や低金利基調の継続にも助けられて、大企業を中心とした企業収益の向上や設備投資の堅調により景気は拡大を続けました。しかしながら持続的な景気の拡大にもかかわらず、定期給与の減少や物価の下落が見られるなど過去の景気上昇期には見られない展開となり、このため当業界に最も影響の大きい個人消費需要にはさしたる動意が感じられず、また地域間格差の拡大もあって総じては回復の実感のないままに推移いたしました。

繊維・衣料業界におきましても、梅雨明けの遅れのため夏物商戦が伸び悩むなど低調に推移し、百貨店の衣料品売上高も総じて前年割れとなりました。

この中において当社は、市場の変化に迅速に対応すべく業種毎の分社グループ経営体制をとり、各社は情報の共有と相互の連携を深め、企業集団としての総合力の強化につとめてまいりました。

当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は16,280百万円(前年同期比8.2%増)と増加いたしました。これは当上半期から衣料製品売上高の計上基準を事業の実態に合わせて変更したことによるものであります。すなわち、従来は販売先への納入(卸売)金額により計上しておりましたが、当期より店頭販売(小売)金額で計上し、この差額を歩合家賃(インショップチャージ)として販売費に計上することといたしました。この結果、売上高と販売費はそれぞれ歩合家賃相当額が増加いたしておりますが、営業利益以降については影響はございません。

なお、前中間連結会計期間と同基準の売上高は、14,195百万円(前年同期比5.6%減)となりましたが、主な要因は、前連結会計年度にジャルダン株式会社のジャルダンブランドの撤退による減少の811百万円およびファミリーカジュアル事業のカゴックの店舗撤退による売上高の減少201百万円によるものであります。営業利益は繊維業界全般に商況不振のなか営業損失105百万円(前年同期は営業利益130百万円)、経常利益520百万円(前年同期比40.4%減)となりました。中間純利益につきましては、前年上半期に特別退職金等の多額の特別損失を計上いたしました。当上半期はこの負担がないため139百万円(前年同期は中間純損失984百万円)となりました。

次に当中間連結会計期間の単体業績であります。売上高は2,694百万円(前年同期比3.9%増)、経常利益は1,264百万円(前年同期比15.1%増)となりました。連結子会社2社(株式会社ダイドートレーディングおよび株式会社ギープスアンドホークスジャパン)に対する貸倒引当金および投資損失引当金等を特

別損失に1,148百万円を計上いたしました結果、中間純利益は15百万円(前年同期は中間純損失228百万円)となりました。

なお、平成18年10月1日をもって、株式会社メンズニュー Yorker・株式会社レディースニュー Yorker・株式会社N.Y.クロージング・株式会社パークレイおよび株式会社マيسーツクラブを株式会社ニュー Yorkerに合併しております。これにより紳士・婦人の一体的組織運営と総合ブランド「ニュー Yorker」としてさらに市場での認知と浸透をはかるとともに、併せて本部機構の簡素化・合理化等を進め、ブランド力の強化を推進するものであります。

さらに、ニット関連事業を統合し製品の企画・生産の効率化のため、株式会社パビー・株式会社パップスおよびジャルダン株式会社が合併し、株式会社パビージャルダンとしてスタートしております。

今後の見通しであります。企業収益の増加が主導して日本経済は緩やかながら長期にわたり拡大を続けているものの、家計ベースでは未だ回復実感に乏しい特異なパターンを示しており、増税への懸念や年金問題なども根強く伏在しております。

当社グループといたしましては、厳しい経営環境を冷静に受止めて、『お客様第一』『品質本位』の基本を堅持して、各社がその特色を發揮して市場での地位を確かなものとするとともに、相互の連携と情報の共有化を一層進め、原料から商品企画・製造・販売までを一貫とするグループの特色を發揮して、全社一丸となって収益体質の構築と強化を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



代表取締役会長

羽馬嘉彌



代表取締役社長

兼越孝浩

衣料原料事業

毛織物業界におきましては、生産拠点の海外移転に加え流行面でのウール素材離れもあって、国内産地は生産設備の老朽化と人材の高齢化がさらに進行し、長年にわたる不況のために財務の劣化も重なり重要な岐路に立たされております。

当社は生産工場を既に中国に移転しておりますが、引き続き新品種の開発と品質の向上につとめるとともに、積極的に受注活動を行い安定操業の確保と稼働率の向上をはかってまいりました。また本年2月に締結いたしました株式会社ソトー（愛知県一宮市、染色整理業、東京2部・名古屋2部に上場）との業務提携契約により技術者の派遣をうけて、生産品目の拡大につとめてまいりました。

織物販売につきましては、高級梳毛紳士服地を主力とする当社は、スーツ需要の減退に加えて、欧州ブランドの攻勢もあり遺憾ながら前年実績を下回る結果となりました。手編毛糸販売につきましては、下半期におけるニット関連子会社の統合に備えて大幅な在庫処理を先行させましたため、売上高こそ前年同期比で増加いたしましたものの、収益面では大きく後退をいたしました。今後の事業運営には大きく資するものでありますのでご理解のほどお願い申し上げます。

以上の結果、当事業の売上高は1,758百万円（前年同期比15.7%減）、営業損失254百万円（前年同期は営業利益9百万円）と大幅な減収減益となりました。



衣料製品事業

当事業におきましては、全社を通じて『お客様第一』『品質本位』の基本を共有し、ブランドの理念を鮮明にして企画提案力の強化をはかるとともに、企画から製造・物流・店頭販売に至る全工程を通じて業務の改善に取り組み、事業としての総合的品質の向上をはかってまいりました。縫製工程につきましては、紳士服全般にかつての低価格一辺倒から高級ゾーンが見直されているため、当社の技術が評価されて堅調に推移いたしました。

「メンズニューヨーク」ブランドの販売につきましては、昨夏の「クールビズ」効果の反動もあって中弛みの月はありましたが、スーツ・ドレスシャツ販売の不振をジャケット・カジュアルボトムスがカバーし、また時機を得たジャストシーズン対策とニット等の充実もあって前年同期の実績を確保いたしました。

「ギーブスアンドホークス」ブランドにつきましては、本格的に販売を開始いたしました。未だ創業期にあり、販売経費が先行し収益を計上できぬ状況にあります。

「レディースニューヨーク」ブランドの販売につきましては、当上半期は盛夏シーズン後の初秋



に向けたカットソーやワンピース等の商品を充実させてプロパー売上比率の増加をはかりました。これにより売上総利益率は改善いたしましたものの売上計画は未達となりましたため、販売経費率が増加し営業利益は前年同期並にとどまりました。



ジャルダン株式会

社は、前期末をもって百貨店向け婦人ニット衣料事業を廃止し、当期からは他社ブランドのOEM（相手先ブランドによる製造卸）生産に特化いたしました。

以上の結果、当衣料製品事業の売上高は会計基準の変更のため11,661百万円（前年同期比12.2%増）となりましたが、前中間連結会計期間と同じ基準による売上高は9,576百万円（前年同期比7.9%減）となりました。この減少要因は、中国における衣料製品の売上が213百万円増加いたしました。ジャルダンブランドの撤退による減少811百万円およびファミリーカジュアル事業の縮小により201百万円減少したことによるもので、売上高減少による売上総利益の減少と経費率の上昇により営業損失387百万円（前年同期は営業損失189百万円）と大幅な減収減益となりました。

不動産賃貸等事業

当事業は、商業施設「ダイナシティ」とオフィスビルの賃貸管理がその主な事業内容であります。「ダイナシティ」は神奈川県小田原市に立地しており、全国的に出店ラッシュが継続しておりますが営業は堅調に推移し、売上高は前年同期の水準を確保しております。しかしながら工場跡地の有効活用として事業を開始してから満13年が経過して修繕費等の経費が増加してきておりますため営業利益は若干の減少となりました。他方でオフィス賃貸面積の増加による収入増もあり、売上高3,078百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は前年同期と同額の1,053百万円を計上いたしました。



なお、持分法適用会社2社（株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパン、株式会社リパティ ジャパン）は堅調に推移いたしました。

連結貸借対照表（要旨）

平成18年9月30日現在 単位：百万円

科目	金額
資産の部	
流動資産	13,939
現金・預金	1,046
受取手形・売掛金	3,328
たな卸資産	7,688
繰延税金資産	511
その他	1,368
貸倒引当金	△4
固定資産	67,210
有形固定資産	21,906
無形固定資産	579
投資その他の資産	44,724
投資有価証券	41,749
繰延税金資産	107
その他	3,129
貸倒引当金	△262
資産合計	81,149

単位：百万円

科目	金額
負債の部	
流動負債	21,294
支払手形・買掛金	3,152
短期借入金（1年以内）	12,012
長期借入金（1年以上）	2,916
その他	3,213
固定負債	24,694
長期借入金	6,251
繰延税金負債	10,985
繰延税金負債	5,612
その他	1,845
負債合計	45,989
純資産の部	
株主資本	28,503
資本金	6,891
資本剰余金	9,633
利益剰余金	16,675
自己株式	△4,697
評価・換算差額等	6,596
その他有価証券評価差額金	6,178
為替換算調整勘定	418
新株予約権	13
少数株主持分	46
純資産合計	35,160
負債及び純資産合計	81,149

連結株主資本等変動計算書（要旨）

（平成18年4月1日から平成18年9月30日まで） 単位：百万円

	株主資本				評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定			
平成18年3月31日残高	6,891	9,633	17,634	△4,696	29,462	6,392	475	6,868	18	36,349
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△1,046		△1,046					△1,046
利益処分による役員賞与			△48		△48					△48
中間純利益			139		139					139
自己株式の取得				△1	△1					△1
その他			△3		△3					△3
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）						△214	△57	△271	13	28
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△958	△1	△959	△214	△57	△271	13	28
平成18年9月30日残高	6,891	9,633	16,675	△4,697	28,503	6,178	418	6,596	13	46

連結損益計算書（要旨）

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで 単位：百万円

科目	金額
売上	16,280
営業費用	16,385
営業利益	△105
営業外収益	941
営業外費用	315
経常利益	520
特別利益	4
特別損失	180
税金等調整前中間純利益	344
法人税、住民税及び事業税	87
法人税等調整額	116
少数株主損失	0
中間純利益	139

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで 単位：百万円

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	939
投資活動によるキャッシュ・フロー	△563
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,581
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23
現金及び現金同等物の増減額	△1,228
現金及び現金同等物期首残高	2,275
現金及び現金同等物中間期末残高	1,046

ダイドーリミテッドグループ紹介

DAIDOH GROUP

事業活動と主要なグループ子会社

当社グループの連結子法人等は26社、持分法適用関連会社は2社あり、取り扱い品目や顧客は各社により異なっておりますが、グループを通して「お客様第一」「品質本位」の基本を共有して事業運営に当たっております。

衣料製品事業

<p>販売</p> <p>株式会社ニュー Yorker 株式会社メンズニュー Yorker 株式会社レディースニュー Yorker 上海纽约服装销售有限公司 (SHANGHAI NEW YORKER CLOTHING SALES CO., LTD.) 北京纽约服装销售有限公司 (BEIJING NEW YORKER CLOTHING SALES CO., LTD.) ジャルダン株式会社 株式会社ユースーツ 株式会社ギープスアンドホークスジャパン 株式会社N.Y.クロージング 株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパン</p>	 	<p>製造</p> <p>大同利美特時装（上海）有限公司 (DAIDOH LIMITED CLOTHING (SHANGHAI) CO., LTD.) 大同佳樂登（馬鞍山）有限公司 (DAIDOH JARDAN (MAANSHAN) CO., LTD.) 株式会社パークレイ 株式会社マيسーツクラブ 株式会社ジェイ・ディ・ビジネスクリエーション 株式会社タイトートレーディング 大同利美特貿易（上海）有限公司 (DAIDOH LIMITED TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.) * =持分法適用関連会社</p>	<p>販 売 代 行</p> <p>株式会社パークレイ 株式会社マيسーツクラブ 株式会社ジェイ・ディ・ビジネスクリエーション 株式会社タイトートレーディング 大同利美特貿易（上海）有限公司 (DAIDOH LIMITED TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.) * =持分法適用関連会社</p>
--	------------------	--	--

株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパン
 株式会社ブルックスは、新規設立の会社であります。
 平成18年10月1日をもって株式会社ニュー Yorker、株式会社レディースニュー Yorker、株式会社N.Y.クロージング、株式会社パークレイ、株式会社マيسーツクラブを吸収合併いたしました。
 平成18年10月1日をもってジャルダン(株)とパークレイ(株)およびブルックス(株)が合併しパークレイ(株)とジャルダン(株)となりました。
 株式会社ジェイ・ディ・ビジネスクリエーションは平成18年9月30日をもって解散することが決議されました。

株式会社ダイドーリミテッド

衣料原料事業

<p>製造・販売</p> <p>ミリオンテックス株式会社 株式会社バビー 株式会社パップス 西貝（上海）毛线編結有限公司 (PUPPY (SHANGHAI) YARN HAND-KNIT CO., LTD.) *株式会社リパティジャパン 大同利美特（上海）有限公司 (DAIDOH LIMITED (SHANGHAI) CO., LTD.) 大同利美特染整（上海）有限公司 (DAIDOH LIMITED DYEING & FINISHING (SHANGHAI) CO., LTD.) * =持分法適用関連会社</p>	
--	------------------

不動産賃貸等事業

株式会社ダイナシティ

株式会社ダイドーアドバンス

大同利美特（上海）管理有限公司
(DAIDOH LIMITED (SHANGHAI) MANAGEMENT CO., LTD.)

株式会社ダイドーシェアードサービス

貸借対照表（要旨）

平成18年9月30日現在 単位：百万円

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	4,030	流動負債	16,871
現金・預金	284	支払手形	737
受取手形・売掛金	487	短期借入金	9,950
繰延税金資産	354	長期借入金（1年以内）	2,916
その他	3,919	その他	3,268
貸倒引当金	△1,015	固定負債	24,721
固定資産	68,105	長期借入金	6,251
有形固定資産	15,435	預り保証金	11,311
無形固定資産	208	繰延税金負債	5,156
投資その他の資産	52,462	その他	2,002
投資有価証券	50,856	負債合計	41,593
その他	1,908	純資産の部	
貸倒引当金	△301	株主資本	24,324
資産合計	72,136	資本金	6,891
		資本剰余金	9,633
		利益剰余金	12,496
		自己株式	△4,697
		評価・換算差額等	6,204
		その他有価証券評価差額金	6,204
		新株予約権	13
		純資産合計	30,542
		負債及び純資産合計	72,136

損益計算書（要旨）

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで 単位：百万円

科目	金額
売上高	2,694
営業費用	2,228
営業利益	466
営業外収益	1,058
営業外費用	260
経常利益	1,264
特別利益	-
特別損失	1,148
税引前中間純利益	115
法人税、住民税及び事業税	44
法人税等調整額	56
中間純利益	15

株主資本等変動計算書（要旨）

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで 単位：百万円

	株主資本		利益剰余金				自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金					計	その他有価証券評価差額金			評価・換算差額等合計
				固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越剰余金							
平成18年3月31日残高	6,891	9,633	959	3,644	8,090	882	13,576	△4,696	25,405	6,427	6,427	-	31,833
中間会計期間中の変動額													
剰余金の配当						△1,046	△1,046		△1,046				△1,046
利益処分による役員賞与						△48	△48		△48				△48
中間純利益						15	15		15				15
圧縮積立金取崩額				△300		300	-		-				-
自己株式の取得								△1	△1				△1
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額（純額）										△222	△222	13	△209
中間会計期間中の変動額合計	-	-	-	△300	-	△779	△1,079	△1	△1,080	△222	△222	13	△1,290
平成18年9月30日残高	6,891	9,633	959	3,344	8,090	103	12,496	△4,697	24,324	6,204	6,204	13	30,542

【特に記載のない限り平成18年9月30日現在の状況です。】

会社概要

株式会社 ダイドーリミテッド
DAIDOH LIMITED

設立 昭和24年10月17日
資本金 6,891,851,938円

主要な事業所

本社 東京都千代田区外神田三丁目1番16号
小田原開発管理センター 神奈川県小田原市中里208番地

従業員の状況

株式会社ダイドーリミテッド 33名
連結対象会社合計 1,909名
（株ダイドーリミテッドを含む27社）

取締役および監査役

* 取締役	長 長	羽 鳥	島 越	嘉 孝	彌 治
* 取締役	大 長	口 川	木 井	正 勝	人 夫
* 取締役	福 和	木 賀	原 木	恒 邦	光 勇
* 取締役	栗 大	尾 口	尾 口	重 哲	雄 治
* 取締役	桃 田	桃 田	桃 田	重 哲	明 朗
* 監査役	監 査	監 査	監 査	監 査	監 査
* 監査役	監 査	監 査	監 査	監 査	監 査
* 監査役	監 査	監 査	監 査	監 査	監 査

（注）1. *印は代表取締役です。
2. 桃尾重明、田口哲朗の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

主要な借入先

借入先	借入金残高	借入金先が有する当社の株式
住友信託銀行株式会社	5,050百万円	16,340百株
株式会社みずほコーポレート銀行	3,130百万円	11,283百株
明治安田生命保険相互会社	1,000百万円	9,310百株
株式会社三菱東京UFJ銀行	770百万円	2,911百株

（注）上記にはシンジケートローンは含まれておりません。
その内容は、株式会社みずほコーポレート銀行を幹事とする総額100億円、25行であります。

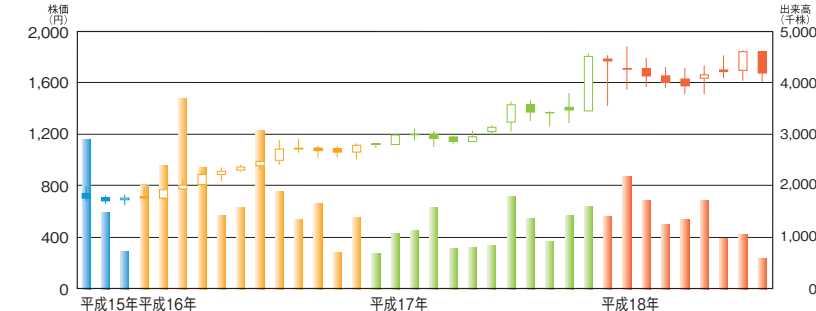
株式の状況

発行可能株式総数 150,000,000株
発行済株式の総数 37,696,897株
株主数 3,079名
大株主

株主名	所有株式数(百株)
株式会社オンワード檜山	49,907
三井住友海上火災保険株式会社	23,457
住友信託銀行株式会社	16,340
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,893
株式会社ソニー	12,500
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,459
株式会社みずほコーポレート銀行	11,283
ソニー生命保険株式会社	11,110

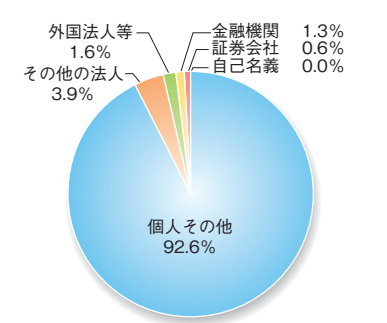
（注）自己株式保有分（2,798,502株）につきましては、上記大株主から除外しています。

株価の推移グラフ

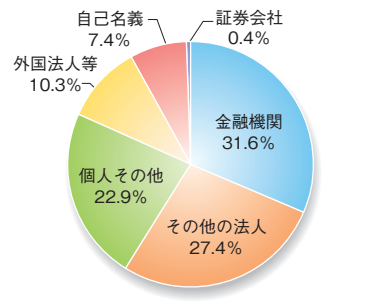


*本中間事業報告書に記載されている計画、戦略などは、将来の予測であってリスクや不確定要素を含んでおります。

所有者別株主数分布



所有者別株式数分布



Topics

トピックス

新生ニューヨーカーとして銀座に複合店をオープンしました

9月16日銀座4丁目に紳士・婦人服の旗艦店として「ニューヨーカー銀座店」がオープンし、スコットランドの伝統柄クランタータンを「ニューヨーカー」のシンボルとして、都会でのビジネスマンとキャリアウーマンを中心とした、「ニューヨーカー」スタイルを提案いたしております。



メンズは上質な重衣料を中心にカスタムテラーも展開し、レディースはコーディネートを提案し、スタイリングに欠かせないアクセサリ、小物、バッグを充実させ、ブランド価値の向上を目指しております。



店舗は116坪、館内をモダンでクラシックな造りにし、夜になるとハウスタータンが浮き出る照明により、通行人にはひときわ目立つ店造りになっております。

NEWYORKER 銀座店

|住所| 〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目3番5号
|営業時間| 11:00~20:00

■お問い合わせ
メンズ ☎ 0120-17-0599 レディース ☎ 0120-17-0699

